第40号
令和7年3月

たかつハートリレー 取材レポート



手話でつながる新しい世界「手話サークル さくらんぼ」

取材先
代表
玉村 しのぶさん

「手話サークル さくらんぼ」について





「手話サークル さくらんぼ」では、聴覚に障がいのある方も、そうでない方も、一緒に楽しく手話を学んでいます。手話は、単なるコミュニケーション手段ではなく、表情や身振りを通じて気持ちを伝え合う温かい言語です。「伝えたい」「知りたい」という気持ちがあれば、手話はどなたでも学ぶことができます。
サークルでは、ろう者が直接指導してくださるため、実践的な手話を学ぶことができます。はじめは戸惑うこともあるかもしれませんが、参加者同士で助け合いながら、楽しく学べる環境が整っています。
また、毎月開催される交流会では、実際に手話を使いながら、さまざまなテーマで話し合ったり、外出行事を開催することもあります。手話を学ぶことを通じて、新しい仲間と出会い、理解を深めることができるのも大きな魅力です。
残念ながら「手話サークル さくらんぼ」は常に満員状態のため、手話に興味のある方、地域のコミュニケーションの輪を広げたい方は、夜のサークルくろーばーの会もあります。いかがですか？　手話を学ぶことで、新しい世界が広がるかもしれません。皆さまのご参加を心よりお待ちしています。

手話を学ぶ魅力とポイント



手話サークルに参加する最大の魅力は「生きた手話を学べること」です。本や動画では得られない、実際の会話の中で使われる表現や、表情・身振り手振りを通じたコミュニケーションの大切さを実感できます。
特に「手話サークル　さくらんぼ」では、ろう者の会員が多く、さまざまな手話表現に触れられるのが大きなメリットです。
また、手話は地域や個人によって表現方法が異なります。最初は戸惑うこともありますが、交流を重ねるうちに違いを理解し、その多様性を楽しめるようになります。
手話は単なる言語ではなく、豊かな表情やジェスチャーを伴うものです。ろう者は顔の表情や体の動きを使って気持ちを伝えるため、手話を学ぶことで、相手に伝わる表現力が磨かれます。これは、日常のコミュニケーション力の向上にもつながります。
さらに、手話を学ぶことで、ろう者の生活や社会で直面する課題への理解が深まります。例えば、マスクを着用すると口の動きが読めず、簡単な会話も困難になることがあります。こうしたエピソードを知ることで、「知ることで優しくなれる」という意識が芽生え、共生社会の実現につながるのではないでしょうか。

たかつハートリレーとは、小地域やグループ単位で行っている福祉活動について現地取材を行い、写真やインタビュー記事とともに掲載していきます。取材された団体が次の団体を取材するリレー形式を取る事で、取材の場が区民の交流の機会にもつながることを目指します。

ハートリレーHP

発行・問い合わせ　高津区役所地域みまもり支援センター地域ケア推進課　TEL：044-861-3313